

1. 事業の位置付け

事務事業名	食糧及び生活必需品の備蓄拡充事業		
事業担当	防災危機管理部 防災危機管理課		
予算科目	01-020110-040000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	01	① <安全> 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	02	2 被害を最小限に抑える防災の環境を充実する	
根拠法令等	災害対策基本法、平塚市地域防災計画		
対象・受益者	市民・職員・防災関係機関	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
災害発生後において指定避難施設を開設した際に、避難者に対して食糧や災害用トイレ、毛布などの必要物品を、速やかに提供することができています。		震災体制の充実のため、指定避難施設などに、食糧・災害用トイレなど生活必需品を備蓄します。また、備蓄倉庫を設置します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	防災倉庫設置箇所数						単位	箇所
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			30	32	35			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	防災倉庫設置済施設の割合						単位	%
	説明・算定式	防災倉庫設置施設数（累計）÷指定避難施設数（51施設）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			59	63	69			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
平成11年に県が発表した被害想定を踏まえた備蓄計画に基づき、食糧1,368食やトイレ68基などを備蓄することができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	災害発生時の避難生活に必要な食糧及び生活必需品の備蓄であり必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	災害時に被災者に対し、食糧や生活必需品を速やかに提供する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	個人及び地域の防災力の向上につながり、妥当性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	企業等から災害時支援物資の提供を得るため、災害時応援協定を締結し、事業の効率化を図る。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低

今後に向けた課題の分析

備蓄計画に基づいて、備蓄を拡充するとともに企業等との災害時支援物資の提携に関する協定を増やしていく。更に市民自らが食糧及び身の回り品等の3日分相当の家庭内備蓄が励行できるよう訓練等を通じ、普及、啓発していく。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				備蓄品の購入	備蓄品の購入、備蓄倉庫の設置	備蓄品の購入、備蓄倉庫の設置		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	2,532	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	9,360	5,116	10,588	0	0
事業費 (A)		0	0	9,360	7,648	10,588	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	104.12				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.10	1.10	1.10	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	9,573	9,573	9,573	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	18,933	17,221	20,161	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 食糧及び生活必需品の備蓄については、震災時の優先順位の高いものから計画的に備蓄するとともに、震災時に速やかに被災者に支援できるように各避難施設への分散備蓄を実施する。	
平成21年度取組方針	
平成21年度に神奈川県から新たな地震被害想定が公表されるのを受け、現在の備蓄計画を見直すとともに、備蓄品の拡充を図る。	
課長コメント	大規模地震の切迫性も考慮し、計画的に食糧や避難所に配備するトイレ等の備蓄を継続していく。